CREAS

クレアス

ローマンシェード

標準タイプ

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

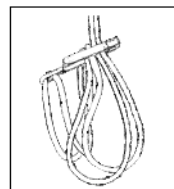
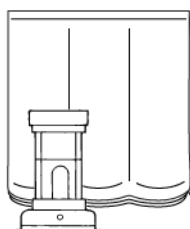
	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

 警告

■お子様をチェーンや昇降コードで遊ばせないでください。チェーンや昇降コードが体に巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。

※コードクリップ（付属品）について

操作チェーンを危険のないようたくし上げる部品です。小さなお子様がいる場合など、手の届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。

■火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

 注意

■製品にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりケガをすることがあります。

■風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながることがあります。

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損する場合があります。

お取付けになる前にお読みください

 警告

 ■製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

 注意

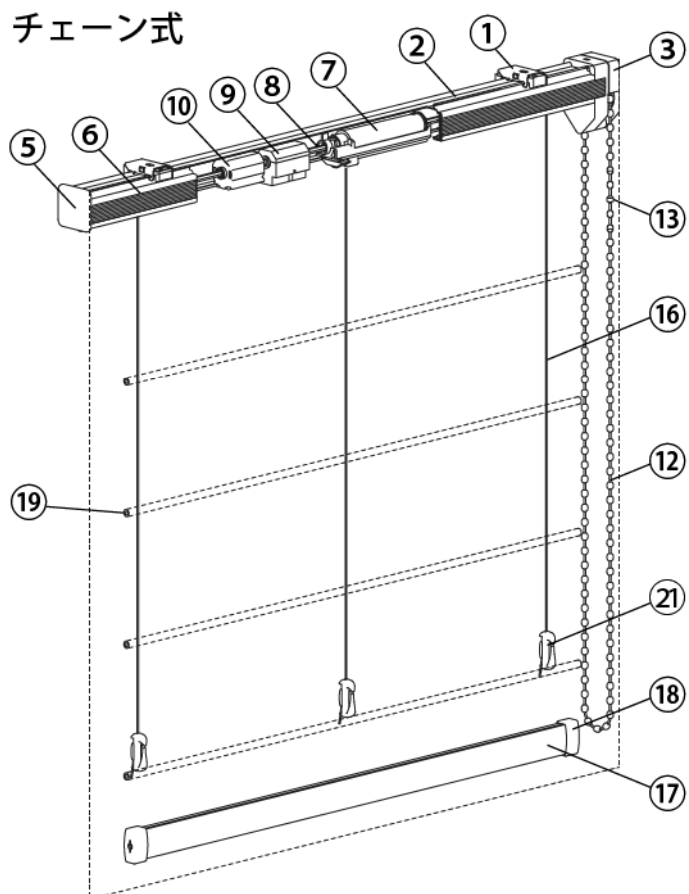
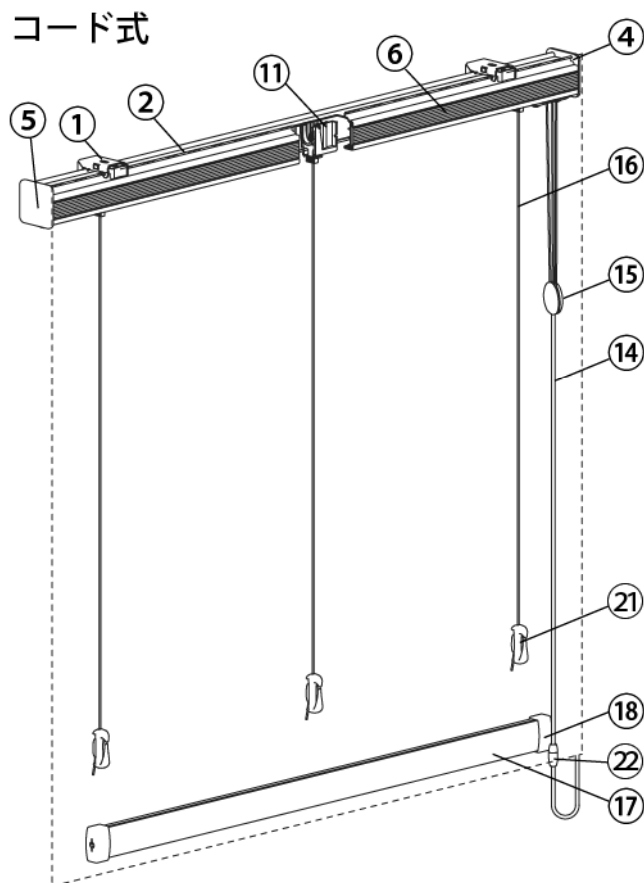
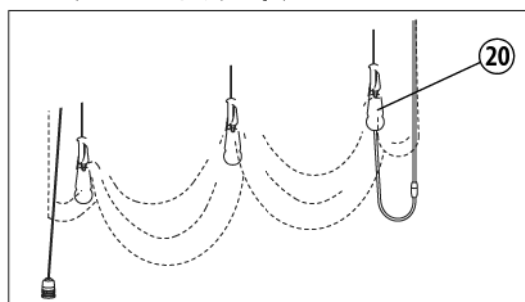
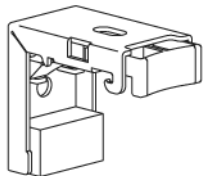
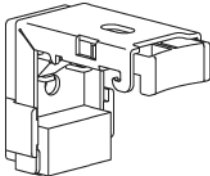
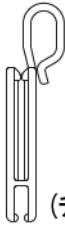
 ■付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

 ■本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

使用環境上のご注意

 警告

 ■この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。

各部の名称

①取付けブラケット	⑨速度調整装置	⑰ウエイトバー ※
②フレーム	⑩ストッパー	⑱ウエイトバーキャップ ※
③チェーン式操作部	⑪コードガイド	⑲シェイパー ※
④コード式操作部	⑫操作チェーン	⑳コードウエイト ※
⑤フレームキャップ	⑬セーフティーチェーン	㉑コードキャッチ
⑥面ファスナーA	⑭操作コード	㉒セーフティージョイント
⑦巻取り部	⑮イコライザー	
⑧六角シャフト	⑯昇降コード	

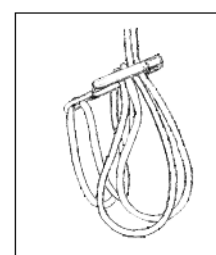
注）「※」の部品は、スタイルによって異なります。

- フラットスタイル……………⑰⑱
- バルーンスタイル……………⑳
- シェイパースタイル…………⑰⑱⑲

付属品　本品には以下の部品が袋詰めにて付属しています

部品名 ＼ 製品幅（mm）	取付けブラケット（チェーン式正面付けを除く）	取付けブラケット（チェーン式正面付けの時）	ブラケット用ビス	コードクリップ（チェーン式のみ）
～1500	2個	2個	2本	1個
1510～2900	3個	3個	3本	
2910～4000	4個	4個	4本	

コードクリップについて

操作チェーンを危険のないようたくし上げる部品です。
小さなお子様がいる場合など、手の届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。
詳しくは、コードクリップに添付している「コードクリップの使い方」をご確認ください。

製品の取付けかた

必要な工具　・プラスドライバー　・巻尺（スケール）

１）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

２）取付け下地の確認

- 製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
- 木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- 木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
- 取付け部が水平になっているか確認してください。

製品の取付けかた

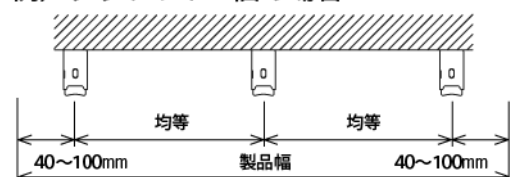
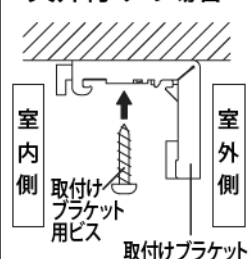
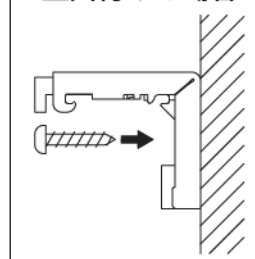
３）取付けブラケットの取付け

①取付けブラケットの位置決め

・取付けブラケットは製品の左右からそれぞれ40～100mmの間にくるように位置を決めてください（サインペン等で印を付けます）。

・取付けブラケットが３個以上の場合は、ブラケット間の距離が均等かつ一直線上になる（正面付けの場合はブラケットの高さがそろう）ように位置を決めてください。

②取付けブラケットの取付け

・右図のように、取付けブラケット用ビスでしっかりと固定してください。

※図はコード式です。

４）製品の取付け

①製品本体の取付け

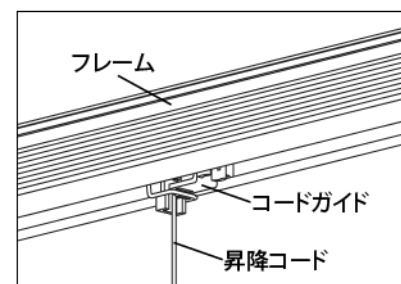
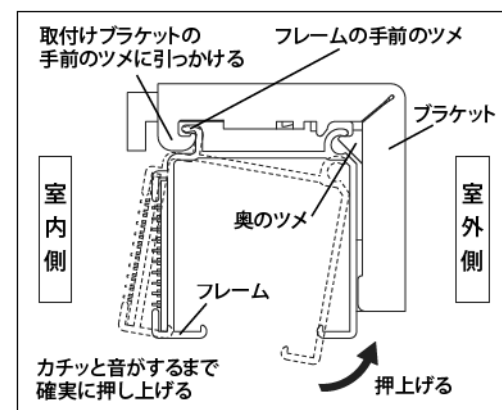
・生地はたたみ込んだままの状態で取付けます。

・取付けブラケットの手前のツメにフレームの手前のツメを引っかけてください。

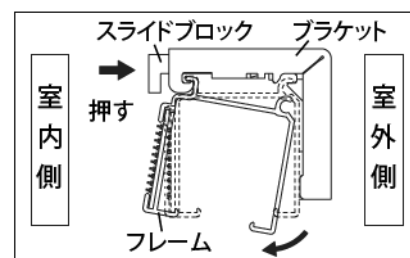
・フレームを取付けブラケットのツメに引っかけた状態で左右の位置決めをします。

・取付け位置が決まりましたら、取付けブラケットの奥のツメがかかるまでフレームの奥を押し上げてください（ツメがかかるとカチッと音がなります）。

※フレームが取付けブラケットに確実に取付けられていることを、必ず確認してください。

※コード式の場合、昇降コードがコードガイドから右図のように正しく出ているか確認してください。

製品の取外しかた

・生地を全てたたみ上げます。

・製品を両手で支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを押します。スライドブロックを押すとフレーム後側のロックが解除され、フレームが外れます。

注意

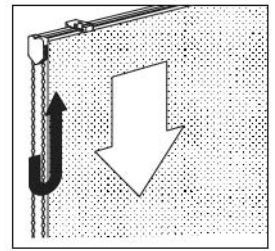
製品が落下しないように両手で製品全体を支えながら作業をしてください。
また、生地を引っ張ると破損することがありますのでご注意ください。

操作のしかた

チェーン式

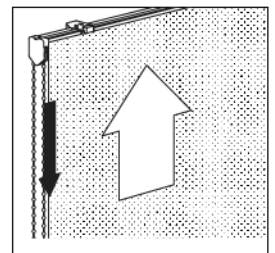
■生地を降ろす時

①操作チェーンの手前(室内側)を少し下に引き、手を緩めると生地がゆっくり下がります。

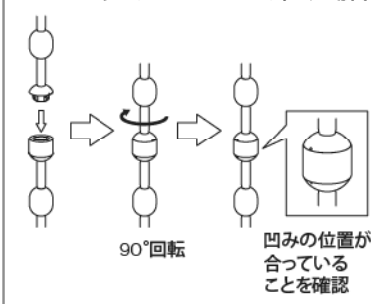
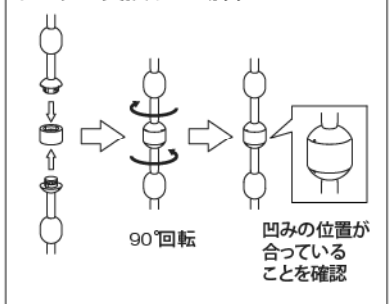
②途中で止めたい場合は、再び操作チェーンの手前(室内側)を少し引き、手を緩めると生地が止まります。

注意

生地を降ろす際は、生地の降ろす位置にものがないことを確認してから操作してください。

■生地を上げる時

操作チェーンの手前(室内側)を下に引くと、生地が上がります。
手を緩めると生地が止まります。

注意

通常操作以上の過負荷(生地が上がりきっている状態でさらにチェーンを引き続けた場合など)がかかると、製品を保護するため、操作チェーンが空回りする装置が組み込まれています。故意に引っ張ると故障の原因となります。

※操作チェーンには、製品を安全で快適にご使用いただくため「セーフティーチェーン」を組み込んでいます。これは、操作チェーンに通常操作以上の負荷がかかった場合などにそのチェーンを分割させる仕組みの部品です。操作中に外れてしまった場合、はめ直してご使用いただけますが、分割しやすくなる場合がありますので、リングを交換する必要があります。お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

操作のしかた

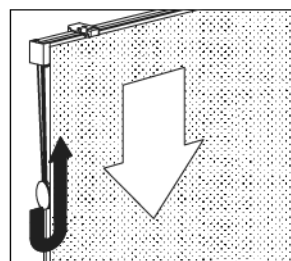
コード式

昇降動作のストッパー機構は、操作コードを引くごとに、ストップと解除が繰り返す機構になっています。

⚠ 注意

生地を昇降する場合は必ず操作コードを持って、操作をしてください。操作コードから手を離しますと、生地が勢いよく下降し、けがや故障の原因となります。生地が止まるまで、絶対に操作コードから手を離さないでください。

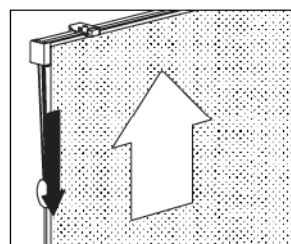
1）生地を降ろす時

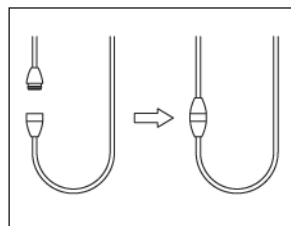
操作コード（またはイコライザー）を下に引き手を緩めると生地が下がります。途中で止めたい場合は、再び操作コードを少し引き、手を緩めると生地が止まります。

操作コードを下に引き、手を緩めると操作コード（イコライザー）が上昇を始め同時に生地が下がり始めます。

2）生地を上げる時

操作コードを下に引くと生地が上がります。

①一番下まで降りている生地を上げたい場合、操作コードを下に引くと生地が上がります。手を緩めると生地が止まります。

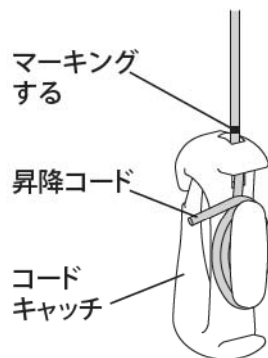
②途中で止まっている生地を上げたい場合、操作コードを少し下に引き、一旦手を緩めてから、再び操作コードを下に引くと生地が上がります。手を緩めると生地が止まります。

操作コードを下に引くと、生地が上がり始めます。

※コード式の製品には、製品を安全で快適にご使用いただくため、操作コードに「セーフティージョイント」を組込んでいます。これは、操作コードに負担がかかった場合などに、そのコードを分割させる仕組みの部品です。操作中に外れてしまった場合は、再びはめ直してご使用ください。

生地の取外しかた

はじめに、生地をすべて下まで降ろしてください。

＜注意事項＞

- 製品寸法・タイプによって、昇降コード、ガイドコードの通しかた、生地に付属する部品が異なります。生地を再度取付ける場合に備え、取外し前の状態を確認してから、生地の取外しを行ってください。
- 昇降コード（生地裏面下部のコードキャッチ上部）にサインペン等でマーキングしてください。
  後で生地を取付ける際、昇降コードの長さ調整の目安となります。

- 生地のクリーニングや洗濯をする場合は、生地裏面左上（または右下）にある取扱表示ラベルにしたがってください。
- 生地に縫製されているリングテープへのアイロンがけはしないでください。
  リングテープが縮み、テープ部にしわが発生します。

【フラットスタイル・バルーンスタイルの場合】

①リングの上側または下側の昇降コードを、リング横へ取り回してください。

②リングの脇から昇降コードを差込み、

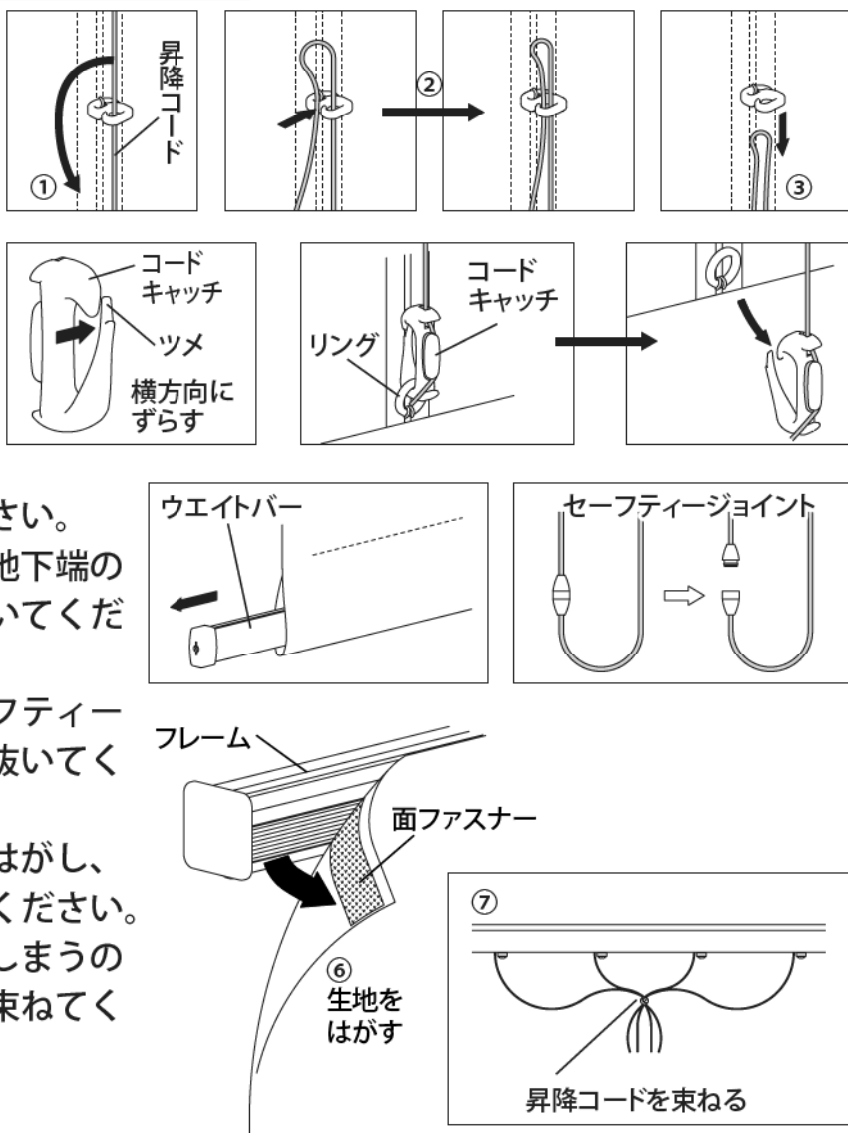
③昇降コードを抜き取ってください。

④生地裏面下部のコードキャッチのツメを横方向にずらした上で、コードキャッチをリングから取外してください。

⑤フラットスタイルの場合生地下端の脇から、ウエイトバーを抜いてください。

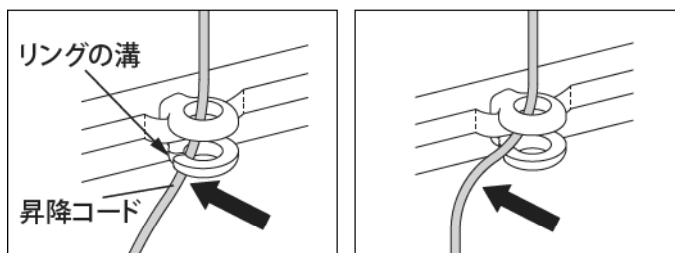
※コード式の場合は、セーフティージョイントを外してから抜いてください。

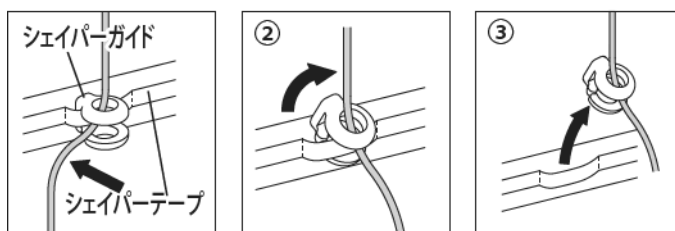
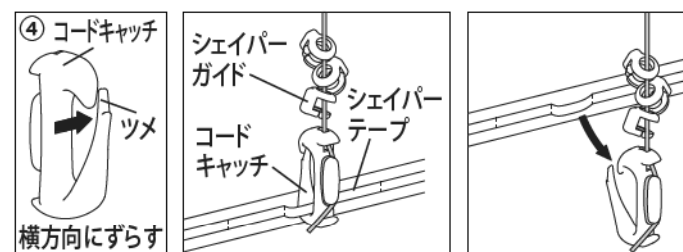
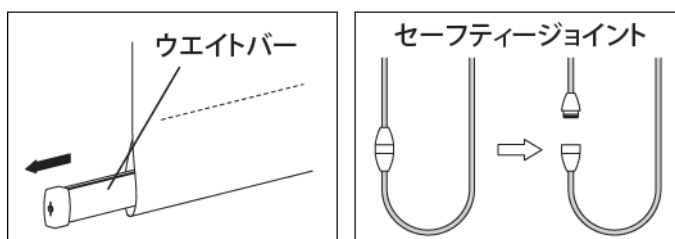
⑥生地上部の面ファスナーをはがし、生地をフレームから外してください。

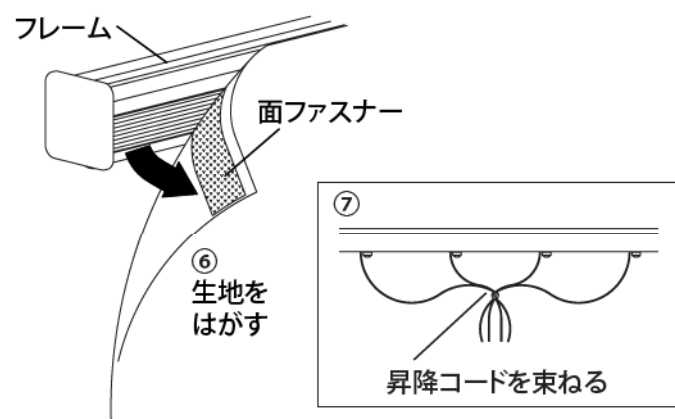
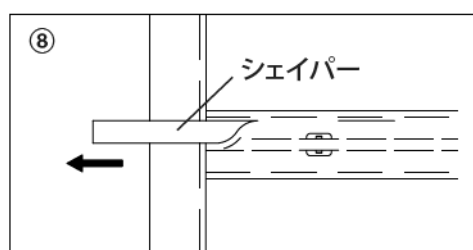
⑦昇降コードが誤って抜けてしまうのを防ぐため、昇降コードを束ねてください。

生地の取外しかた

【シェイパースタイルの場合】

※8ページの＜注意事項＞を確認した上で、生地の取外しを行ってください。

①リングの溝から、昇降コードを抜きます。

②シェイパーガイドを図のように回し、

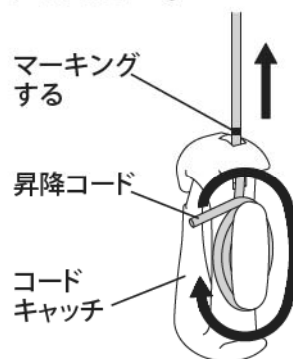
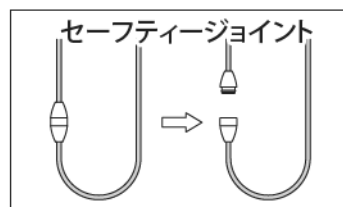
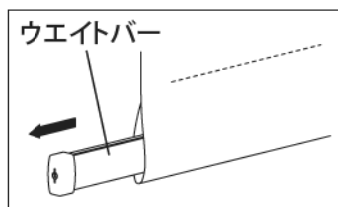
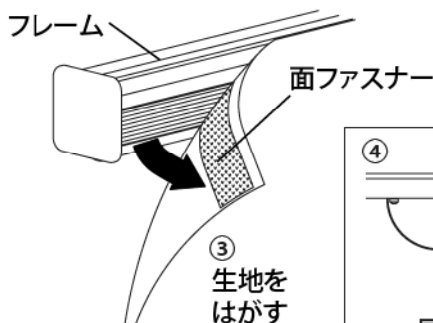
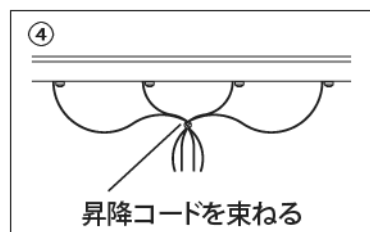
③シェイパーガイドをシェイパーテープから取外します。

④生地裏面下部のコードキャッチのツメを横方向にずらした上で、コードキャッチをシェイパーテープから取外してください。
※すべて取外すと、右図のようにシェイパーガイドが下にたまります。

⑤生地下端の脇から、ウエイトバーを抜いてください。
※コード式の場合は、セーフティージョイントを外してから抜いてください。

⑥生地上部の面ファスナーをはがし、生地をフレームから外してください。

⑦昇降コードが誤って抜けてしまうのを防ぐため、昇降コードを束ねてください。

⑧生地についているシェイパーを取外してください。

生地の取外しかた

【全スタイル共通】

※フラットスタイル、シェイパースタイル、バルーンスタイルは、以下の方法でも生地を取外すことができます。

※8ページの<注意事項>を確認した上で、生地の取外しを行ってください。

①昇降コード(生地裏面下部のコードキャッチ上部)にサインペン等でマーキングしてください。
生地裏面下部のコードキャッチに巻きつけてある昇降コードを外し、コードキャッチから昇降コードを抜取ってください。昇降コードすべてについて、同様に抜取ってください。

②フラットスタイル・シェイパースタイルの場合生地下端の脇から、ウエイトバーを抜いてください。
※コード式の場合は、セーフティージョイントを外してから抜いてください。

③生地上部の面ファスナーをはがし、生地をフレームから外してください。
※この時、同時に昇降コードは各リング(またはガイド)から抜けます。

④昇降コードが誤って抜けてしまうのを防ぐため、昇降コードを束ねてください。

⑤生地についている部品を取外してください。

※フラットスタイルと、バルーンスタイル裏面のリングは、取外す必要はありません。

※コードキャッチを取外す際は、ツメを横方向にずらして外し、コードキャッチをリングから取外してください。

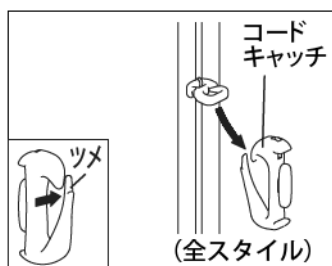
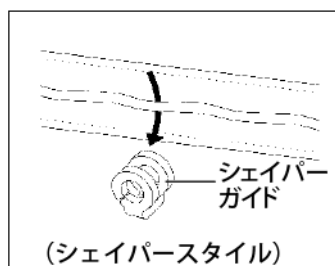
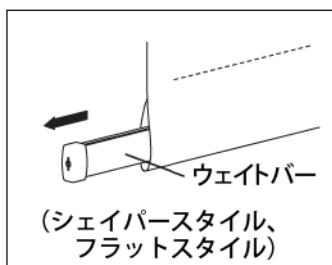
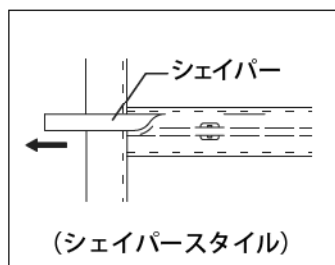
(シェイパースタイル)

(シェイパースタイル、フラットスタイル)

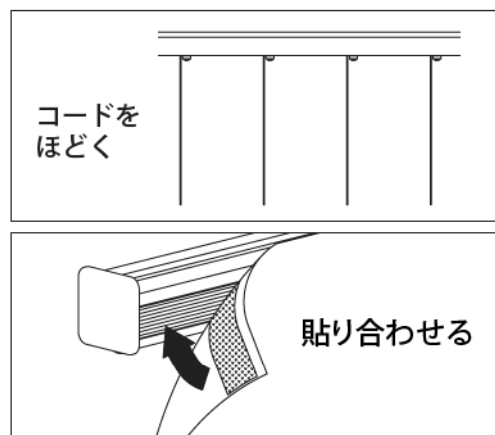
コードウェイト

(バルーンスタイル)

(シェイパースタイル)

(全スタイル)

生地の取付けかた

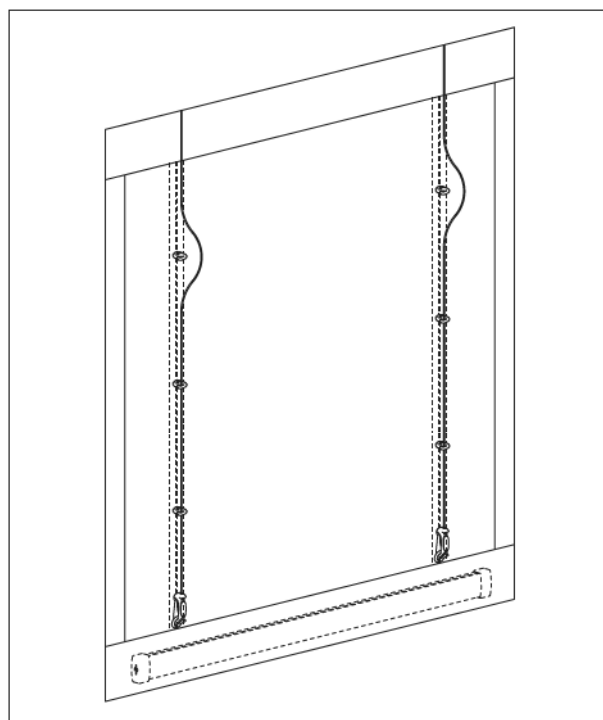
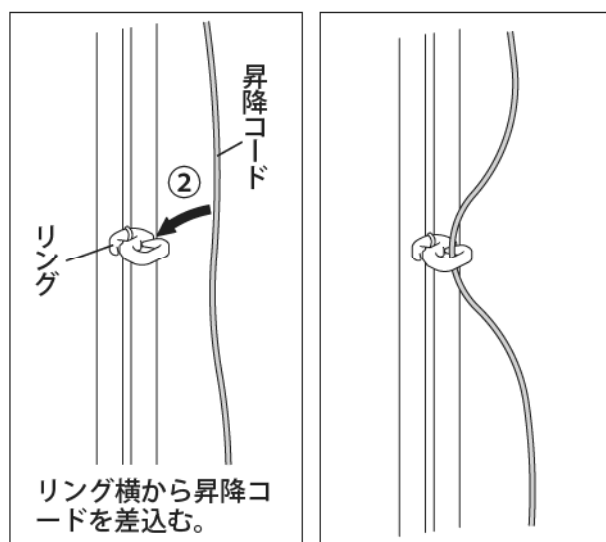
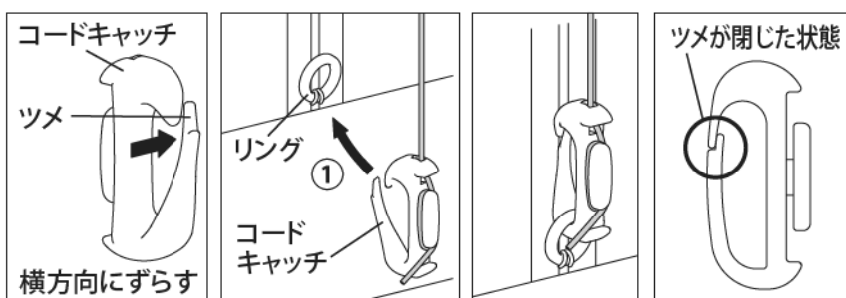
はじめに

1）生地を取外す際に束ねていた昇降コードを、抜けないように注意しながら、図のような状態にしてください。
2）生地に組込まれていた部品を元通りに生地に組込んでください。
3）生地上部の面ファスナーをフレームの面ファスナー部に重ね、貼り合わせてください。

【フラットスタイル・バルーンスタイルの場合】

※8ページの【フラットスタイル•バルーンスタイルの場合】の手順で生地を取外した場合。

※上記はじめにを最初に行ってください。

①生地裏面下部のリングに、コードキャッチのツメを横方向にずらした上で、コードキャッチを取付けてください。
※取付けた後、コードキャッチのツメが閉じていることを確認してください。

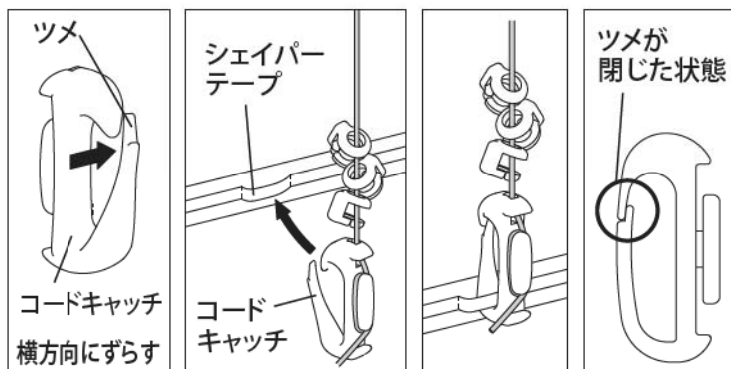
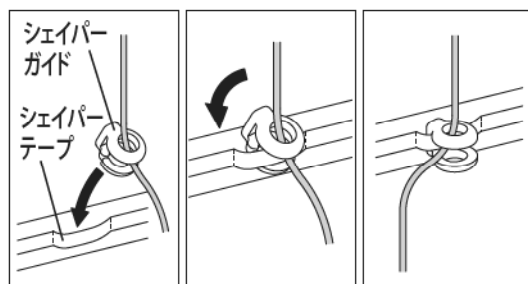
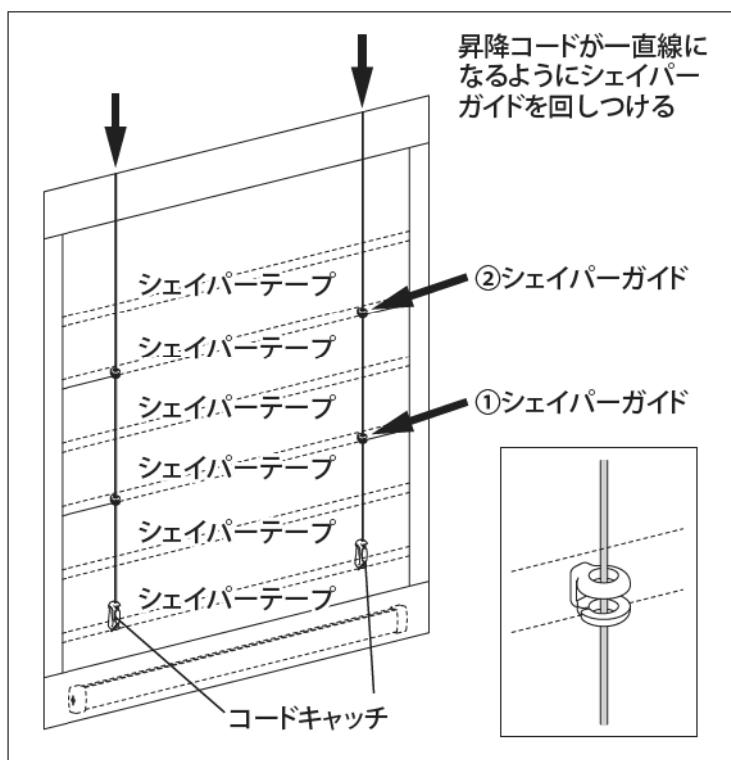
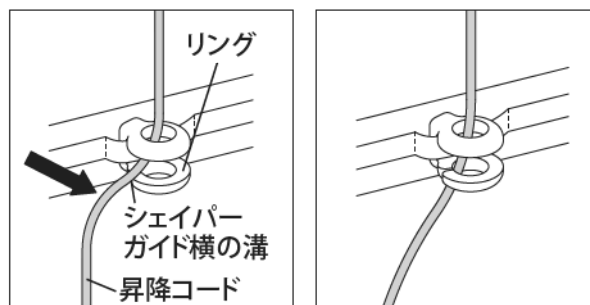
②昇降コードをリング横から差し込んでください。

③2〜3回昇降テストを行ってください。片上がり（生地がななめに上がる）が起こったり、各スワッグが均等に上がらなかったりなど、生地がうまくたたまれない場合は、生地下部のコードキャッチのところで昇降コードの長さを調整し、巻付けて固定してください。

生地の取付けかた

【シェイパースタイルの場合】

※9ページの【シェイパースタイルの場合】の手順で生地を取外した場合。

※11ページの はじめに を最初に行ってください。

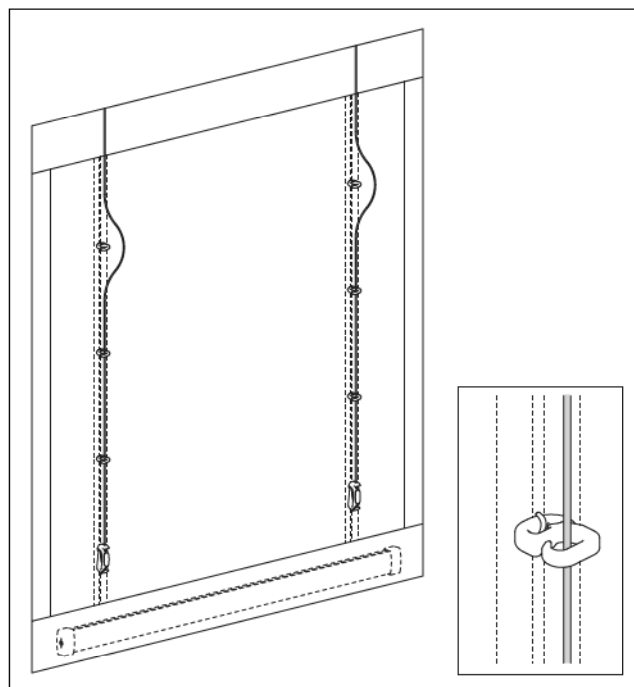
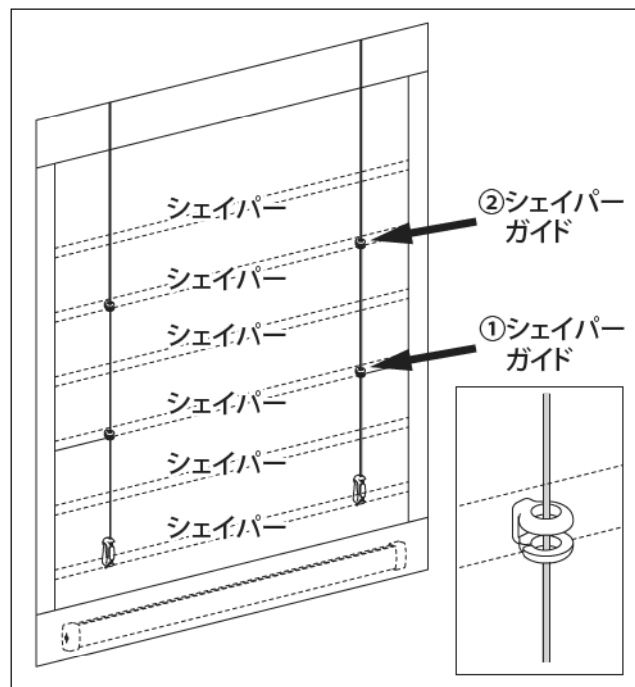
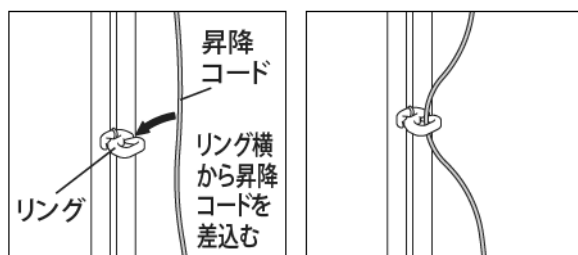
①生地裏面の最も下部のシェイパーテープに、コードキャッチのツメを横方向にずらした上で、コードキャッチを取付けてください。
※取付けた後、コードキャッチのツメが閉じていることを確認してください。

②シェイパーガイドを、右の図のように昇降コードが一直線になるように、シェイパーテープに回しつけます。

※シェイパーガイドは元通りの位置に組込んでください。
シェイパーガイドを組込む位置は、まず最下部のコードキャッチのところから数えて3つ目のシェイパーテープに通し、それより上は、シェイパーテープを一つずつ飛ばして組込んでいきます。

③シェイパーガイドの溝から、昇降コードを差し込んでください。

④2～3回昇降テストを行ってください。片上がり（生地がななめに上がる）が起こったり、各スワッグが均等に上がらなかったりなど、生地がうまくたたまれない場合は、生地下部のコードキャッチのところで昇降コードの長さを調整し、巻付けて固定してください。

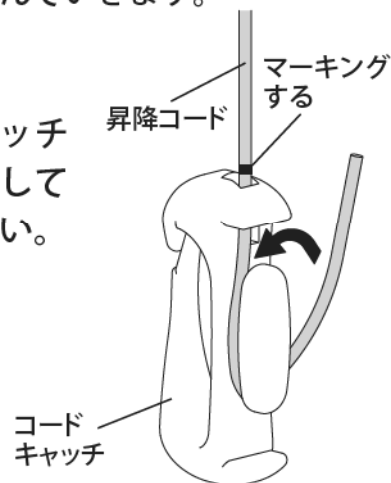
生地の取付けかた

【全スタイル共通】

※10ページの【全スタイル共通】の手順で生地を取外した場合。

※11ページの はじめに を最初に行ってください。

①生地裏面のリング（またはフック）に昇降コードを通してください。

※フラットスタイルで、リングへ昇降コードを通し忘れた場合は、リング横から昇降コードを差し込んでください。

※シェイパーガイドは元通りの位置に組込んでください。
シェイパーガイドを組込む位置は、まず最下部のコードキャッチのところから数えて３つ目のシェイパーテープに通し、それより上は、シェイパーテープを一つ飛ばして組込んでいきます。

②昇降コードに黒くマーキングされている位置をコードキャッチ上端に合わせ、昇降コードをコードキャッチに巻付け固定してください。これをすべての昇降コードに対し行ってください。

③2〜3回昇降テストを行ってください。片上がり（生地がななめに上がる）が起こったり、各スワッグが均等に上がらなかったりなど、生地がうまくたたまれない場合は、生地下部のコードキャッチのところで昇降コードの長さを調整し、巻付けて固定してください。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、ハンディモップ等でほこりを取払ってください。
●生地をクリーニングや洗濯する場合は「生地の取外しかた」に基づいて生地を取外し、生地裏面左上（または右下）にある取扱い表示ラベルに従って取扱ってください。
クリーニングや洗濯が終わったら「生地の取付けかた」に基づいて、再度生地をフレームに取付けてください。
●生地に縫製されているリングテープへのアイロンがけは、しないでください。リングテープが縮み、テープ部にしわが発生します。

こんなときは

症　状	原　因	処　置
生地が斜めに上がってしまう。	・昇降コード長さが正しく調整されていない。 ・取付け面が水平でない。	・生地下部のコードキャッチのところで昇降コードの長さを調整し、巻付けて固定してください。 ・フレームが水平になるように取付け面を調整してください。
ストッパーが効かない、かからない。	・操作部内でストッパー異常が生じている。	・お買上げいただいた販売店にご相談ください。
製品が落ちた	・取付けビスが抜けた ・製品がブラケットに確実に固定されていなかった	・取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。お買上げいただいた販売店にご相談下さい。 ・この取扱説明書にしたがって取付け直してください。

おことわり

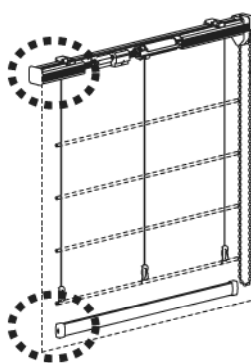
生地の一部に縫製加工時のマーキング（チャコ：紫）が残っている場合があります。この色は数日程で消えますが気になる場合は水を含ませた柔らかい布で軽くふいて消してください。

〈マーキングの消し方〉

①柔らかい布に水を含ませ軽くしぼります。
②マーキングの残っている部分に布を軽くおし当てるよう濡らします。
※綿などの縮みやすい素材は濡らしすぎないようご注意ください。
③自然乾燥させてください。

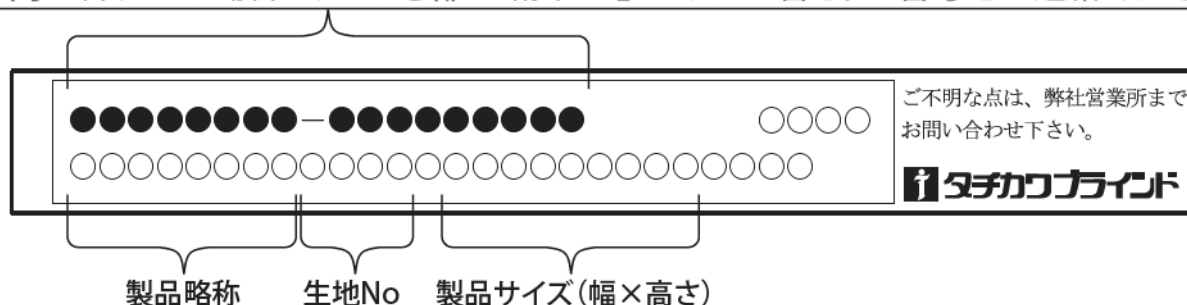
メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けております。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

【メンテナンスシール貼付場所】

・フラット、シェイパースタイルの場合
　製品正面から見てウエイトバーの左端に貼付

・バルーンスタイルの場合
　製品正面から見てフレーム裏左端に貼付

【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「ー」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。

保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より３年間は無料にて修理をさせていただきます。　但し、「生地部・コード類」につきましては、無償修理期間をご購入日より1年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。
※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率70%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。
2012.06
943387